

大学連携3周年記念講演会

科学
と
宗教
の
接
点
を
求
め
て
。

3.24
SAT

ミッドランドスクエア



ハンス ユーゲン・マルクス [南山大学長]



生嶋 明 [豊田工業大学長]



南山大学



豊田工業大学

テーマ 「科学と宗教の接点を求めて」
(講演・パネル討論)

生嶋 明 [豊田工業大学長]
ハンス ユーゲン・マルクス [南山大学長]

司 会 柘植 恵水 NHKアナウンサー
(南山大学文学部仏語学仏文学科1995年卒)

日 時 2007年3月24日(土) 14:00~16:30

会 場 ミッドランドスクエア 5階 ミッドランドホール
〒450-6205 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

主 催 南山大学
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Tel:052-832-3111(代) URL:<http://www.nanzan-u.ac.jp>

豊田工業大学
〒468-8511 名古屋市天白区久方2-12
Tel:052-802-1111(代) URL:<http://www.toyota-ti.ac.jp>



南山大学



豊田工業大学

大学連携3周年記念講演会

講演者プロフィール・講演内容



講演者 **ハンス ユーゲン・マルクス**
(南山大学学長)

所属 **人文学部キリスト教学科**

職位 **教授**

■経歴

- 1968年 聖アウグスティヌス哲学・神学大学卒業
 - 1970年 上智大学日本語研究所修了
 - 1972年 南山大学文学部神学科卒業
 - 1976年 グレゴリアナ大学大学院神学研究科組織神学専攻博士課程単位取得満期退学
 - 1976年 南山大学文学部助手に就任
 - 1978年 Ph.D (神学博士)
- 以後、南山大学講師、助教授、教授を経て1993年第5代南山大学長に就任。

■研究分野

キリスト教伝承における人間の尊厳、キリスト教細分化史

■学会活動

- ・日本カトリック神学会
- ・日本基督教学会(理事)
- ・日本宗教学会
- ・東方キリスト教学会



講演者 **生嶋 明**
(豊田工業大学学長)

所属 **工学研究科**

職位 **教授**

■経歴

- 1959年 東京大学大学院数物系研究科物理学専攻博士課程中退
 - 1963年 理学博士取得(東京大学)
 - 1960年 東京大学物性研究所助手に就任
- 以後、大阪大学基礎工学部助教授、東京大学物性研究所助教授、同教授、HOYA(株)取締役材料研究所長を経て、1995年主担当教授として本学に赴任。2002年9月副学長に就任。2004年9月学長に就任。

■研究分野

フォトニクス基幹材料の基礎研究、物性物理学の基礎に関わる実験的研究(特に超流動、超伝導)および2次相転移に伴う臨界現象の研究

■学会活動

- ・日本国際賞推薦委員・応用科学学会副会長、応用物理学会評議委員・フォトニクス・フォーラム代表幹事(2002年まで)・未来材料部会幹事、複合材料懇談会メンバー・応用物理学会、日本物理学会、日本セラミックス協会、米国光学学会、米国SPIE 各会員

講演タイトル 「こころの理」

キリスト教教会が中世に誕生した大学の母体であったにもかかわらず、宗教改革で自信を失くしたせいで、ガリレオ裁判によって代表されるように、キリスト教は近代科学に宣戦を布告しました。この闘争・対立の関係は現在もなおキリスト教原理主義の中に残っていますが、前世紀はじめ頃から、両者の関係は分離・相互不干渉に変わりました。1970年代以降、とりわけ医学の発展に伴って、宗教と科学の対話が求められるようになっており1992年にガリレオの異端裁判について教皇パウロ2世が誤りを認め、ガリレオ死後350年経って謝罪したことに見られるように、両者は統合にまで進まなくても、ますます対話が盛んになっていく傾向にあります。

講演では、この過程を振り返るとともに、なぜ日本では宗教と科学がはじめてから分離・不干渉であったかを示した上で、「こころ」をキーワードに、これからの対話可能性への展望を開きたいと思います。

講演タイトル 「自然界の構成と秩序」

自然界の構成と秩序は、大は宇宙のサイズから小はそれを構成する究極の素粒子のサイズに至る何桁にも及ぶスケールの物を含みながら、全体を統一的に理解することができます。その美しさについて述べたいと考えています。

サイズの小さな世界では、エネルギーが不連続量である「量子」という考え方でこれまで観測された全てのことが見事に記述できますが、これが原子・分子での現象のみならず全ての物質が示す様々な性質を説明する基礎にもなっていること、さらには宇宙でのさまざまな現象までがこのような考え方を基にして説明されつつあることを幾つかの例でお話しします。

そして、私達の自然界についての知識が深まるにつれて、自然界が創造主の手によっていかに巧みに創られているかという感をいっそう強くすることを語りしたいと思います。

パネリストプロフィール



講演者 **浜名 優美**
(南山大学副学長)

所属 **総合政策学部総合政策学科**

職位 **教授**

■最終学歴

早稲田大学大学院文学研究科フランス文学専攻博士課程(1977年 単位取得満期退学)

■研究分野

文明論、1ブローデル歴史学の研究2現代フェミニズム

■学会活動

- ・日本フランス語フランス文学会(1979.10~)
- ・地中海学会(1992.6~)
- ・18世紀学会(1980~)
- ・日仏女性資料センター(1985~)



講演者 **田中 周治**
(豊田工業大学副学長)

所属 **工学部**

職位 **教授**

■最終学歴

大阪大学大学院工学研究科博士課程(機械工学専攻)1973年修了

■研究分野

流体力学、流体工学(はく離流れの力学、組織乱流の構造解明とその工学への応用、流体騒音、流体計測、流体情報処理)

■学会活動

- ・日本機械学会(1960~)
- ・ターボ機械協会(1978~)
- ・日本ガスタービン学会(1979~)
- ・日本航空宇宙学会(1981~)
- ・日本流体力学会(1982~)